LAN版プロテクタ運用時等にネットワーク上の別PCに接続できない場合について

株式会社ピースネット
https://www.peacenet.co.jp/

新しく購入されたパソコンのネットワーク設定がなされていない、または何らかの原因により既存のネットワーク設定がリセットされてしまった等が原因で、他のパソコンへのアクセスができない場合、ネットワークの設定をお願いする場合がございます。

<注意事項>

下記のようなケースでローカルエリアネットワーク（以下、LAN）上の他のパソコンへのアクセスが必要な場合、セキュリティレベルを確保しつつ安全にご利用いただくため、**弊社では、パソコンにパスワードを設定いただく運用を推奨しております。**

- **LAN 版プロテクタの使用**
- **LAN 上の共有データ利用**

次項でご案内する「パスワード保護共有」は、無効にすると設定したパソコンに第三者がネットワークを介して無断でアクセスできるようになる可能性が高まります。

設定を行う場合は、ルーターによる外部からのアクセス遮断がなされているか、Wi-Fi アクセスポイントでの MAC アドレス制限等のセキュリティ対策が適切になされているか、などを考慮した上でのネットワークセキュリティ変更が必要となります。

必要に応じて、社内セキュリティ担当者の方、又はネットワーク委託先業者の方等とご相談なされた上で、無効にするかどうかはお客様ご自身で判断して頂きますようお願い致します。

「パスワード保護共有」とは？

LAN 上の他のパソコンや共有フォルダにアクセスを行う際、アクセスが拒否されたり、ユーザー名とパスワードの入力を求められたりする場合があります。
通常、共有ファイルなどは、あらかじめ登録されたユーザー以外は、外部からアクセスできないようになっています。しかし、登録済のユーザーアカウントであっても、パスワードがない（未登録）場合は、共有ファイルなどにアクセスをすることができないように標準で設定されています。これが「パスワード保護共有」です。
「パスワード保護共有」を無効にすると、パスワードが未登録のユーザーであっても、アクセス先のパソコンに登録されているユーザーであれば、そのパソコンへのアクセスが可能になります。
この状態では、第三者からの不正アクセスのリスクが高まります。パソコンへログインするユーザーアカウントには、パスワードを設定されることをおすすめします。

「パスワード保護共有」を「無効」にする方法

現在 Microsoft では以下の設定方法が非推奨とされていますので、
Windows アップデート等で自動的に無効化される場合があります。
パスワードを設定する通常の共有方法を推奨します。

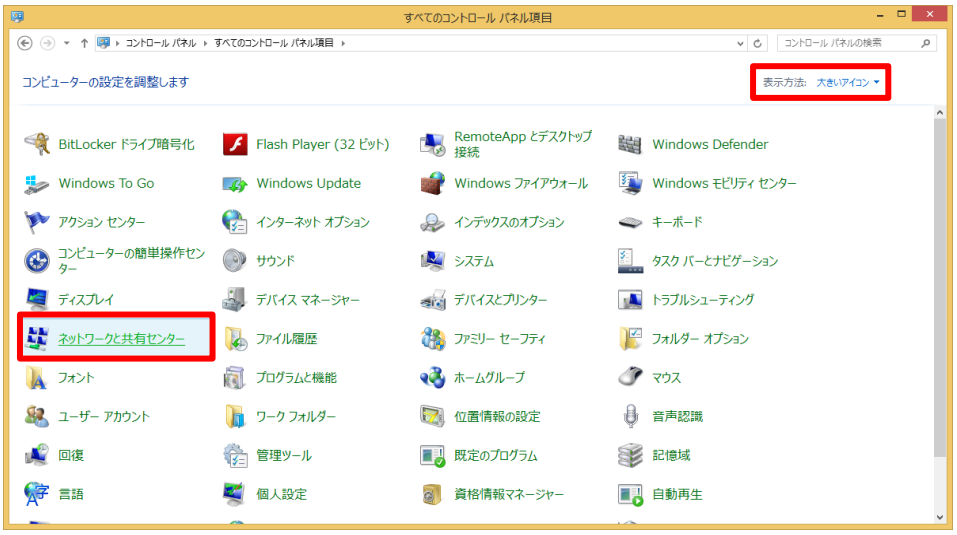
「パスワード保護共有」の設定は、アクセスを受ける側のパソコンに対して行います。
LAN プロテクタ利用の場合
「サーバー監視システム」がインストール済で、LAN 版プロテクタが装着してあるパソコン
共有データ環境を参照する場合
対象のデータ（PnData）が保存されているパソコン
次項でご案内する手順は **Windows 8.1/10 向け**の設定方法となります。
お使いのパソコンの環境によっては表示される画面が異なる可能性があります。
また、この情報は 2019/2 月時点での内容です。今後のアップデート等で方法が変更になる可能性があります。あらかじめご了承下さい。
このマニュアルはドメイン環境ではご利用になれません。
ドメイン環境をご利用の場合はネットワーク管理者の方にお問い合わせをお願い致します。

- **Windows 8.1 の場合**

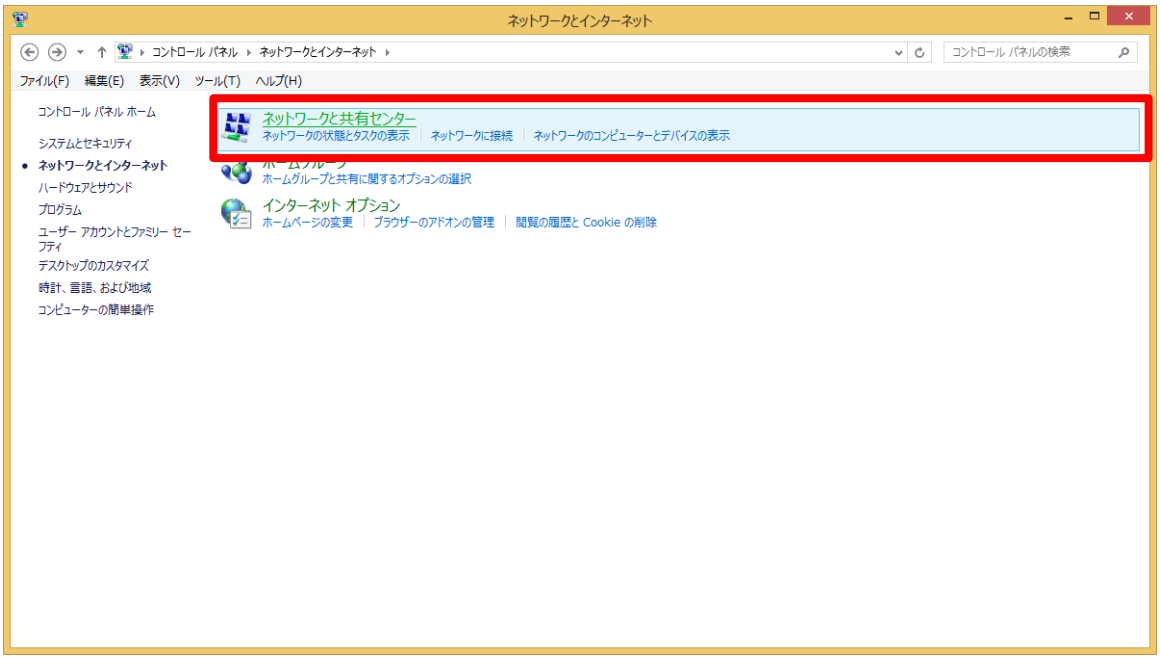
1. 「スタート」ボタンを右クリック（または Win+X キーを押下）し、表示されるメニューから「コントロールパネル」を左クリックします。

2. 「ネットワークとインターネット」を左クリックします。

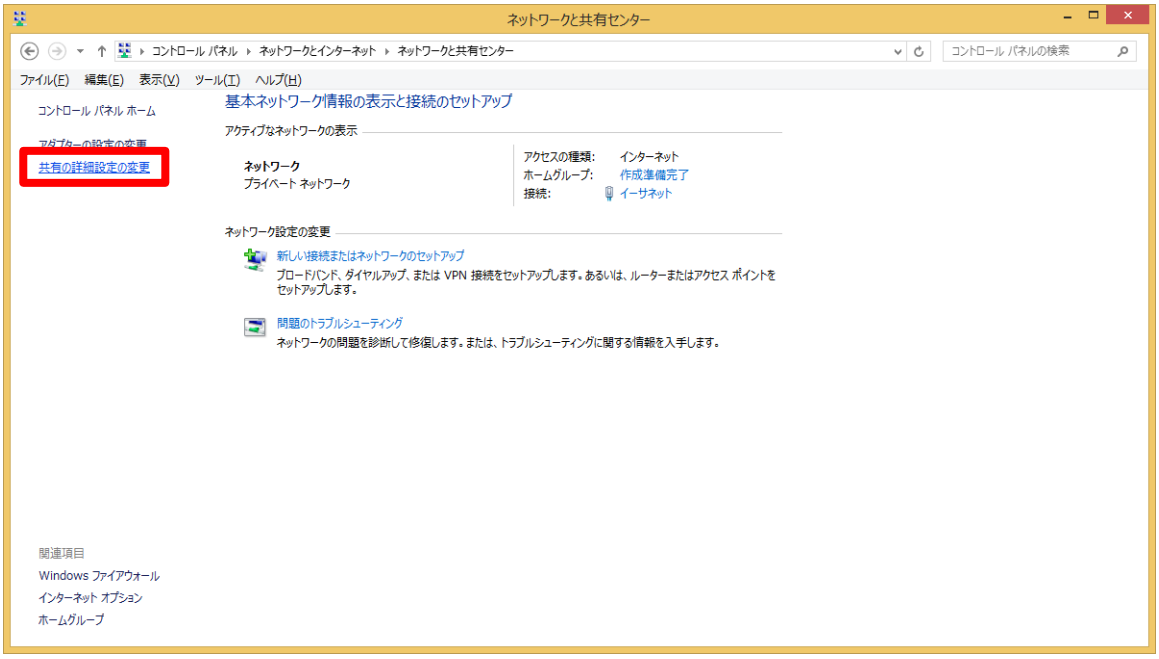
表示方法が「大きいアイコン」または「小さいアイコン」になっている場合は、「ネットワークと共有センター」を左クリックします。この場合、手順４へ進みます。



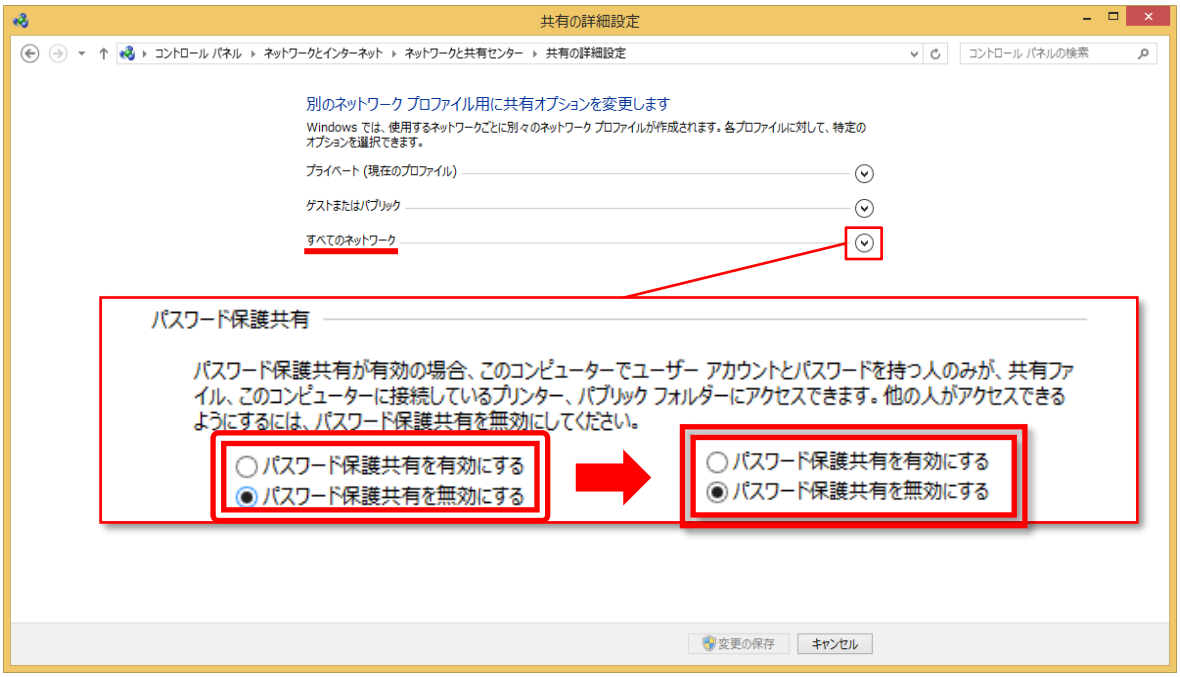
3.「ネットワークと共有センター」を左クリックします。



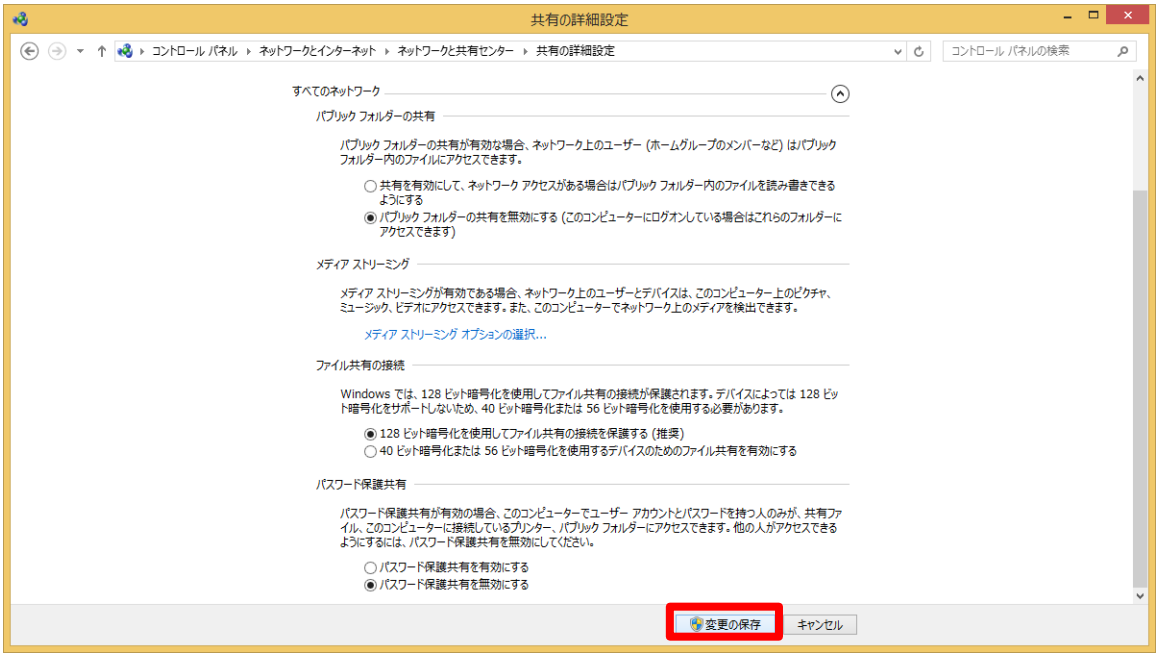
4.「共有の詳細設定の変更」を左クリックします。



5.「すべてのネットワーク」項目を展開（vマークを左クリック）し、
「パスワード保護共有」の設定を「有効」から「無効」に変更します。



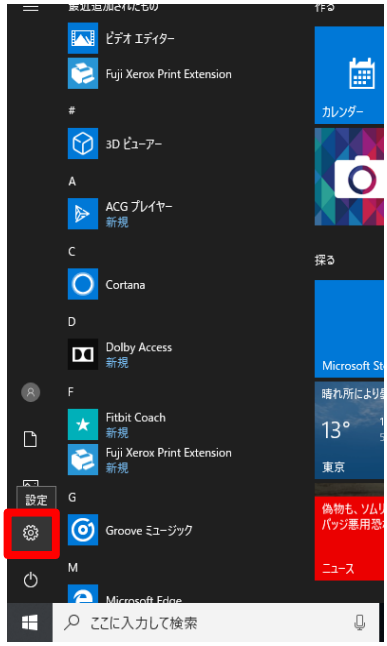
6. 設定変更後は、「変更の保存」ボタンを左クリックします。

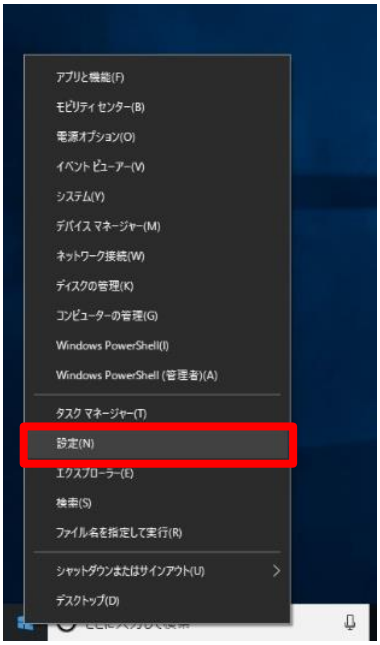


- **Windows 10 の場合**

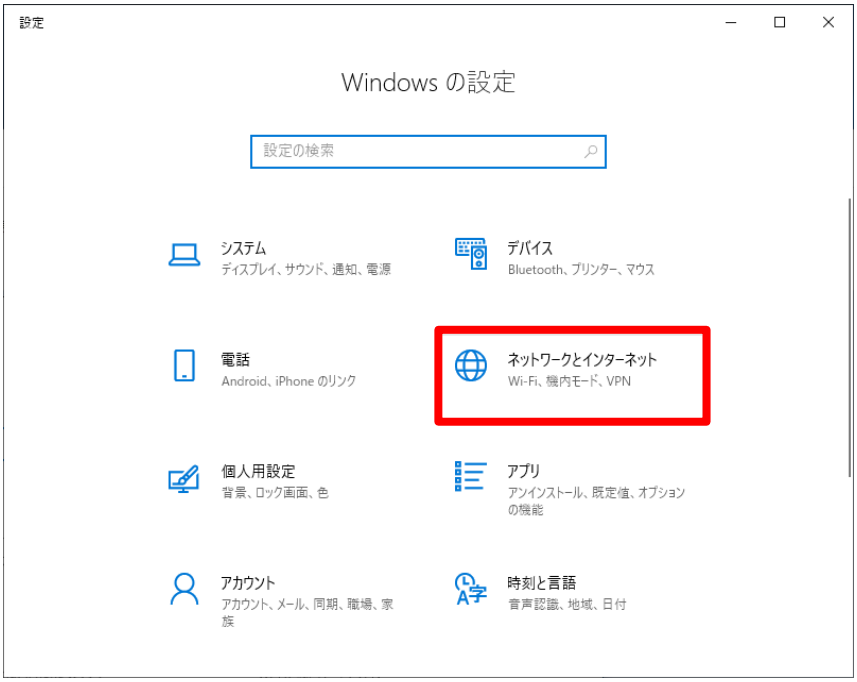
お使いの Windows 10 のバージョンによっては表示される画面が異なる可能性があります。この項目では Windows 10 バージョン 1809（October 2018 Update）での設定方法をご案内します。

1. 「スタート」ボタンを左クリック（または Win+X キーを押下）し、表示されるメニューから「設定」を左クリックします。

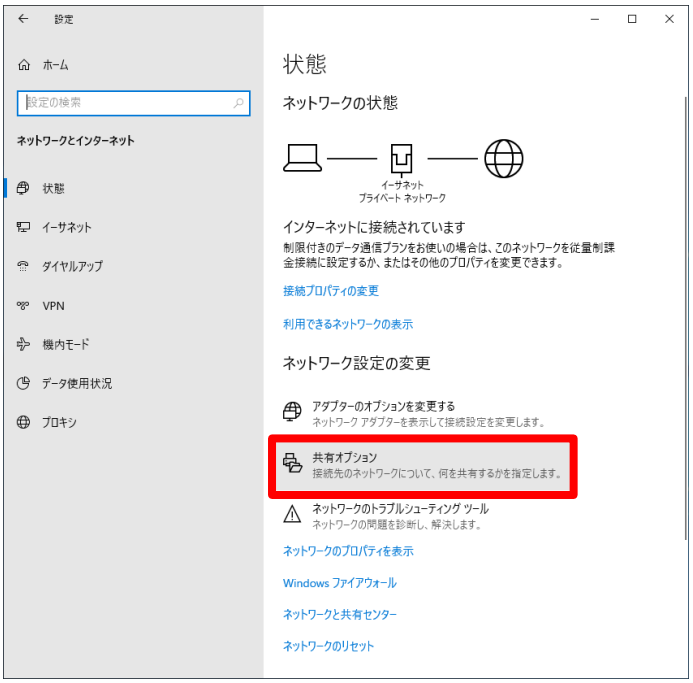




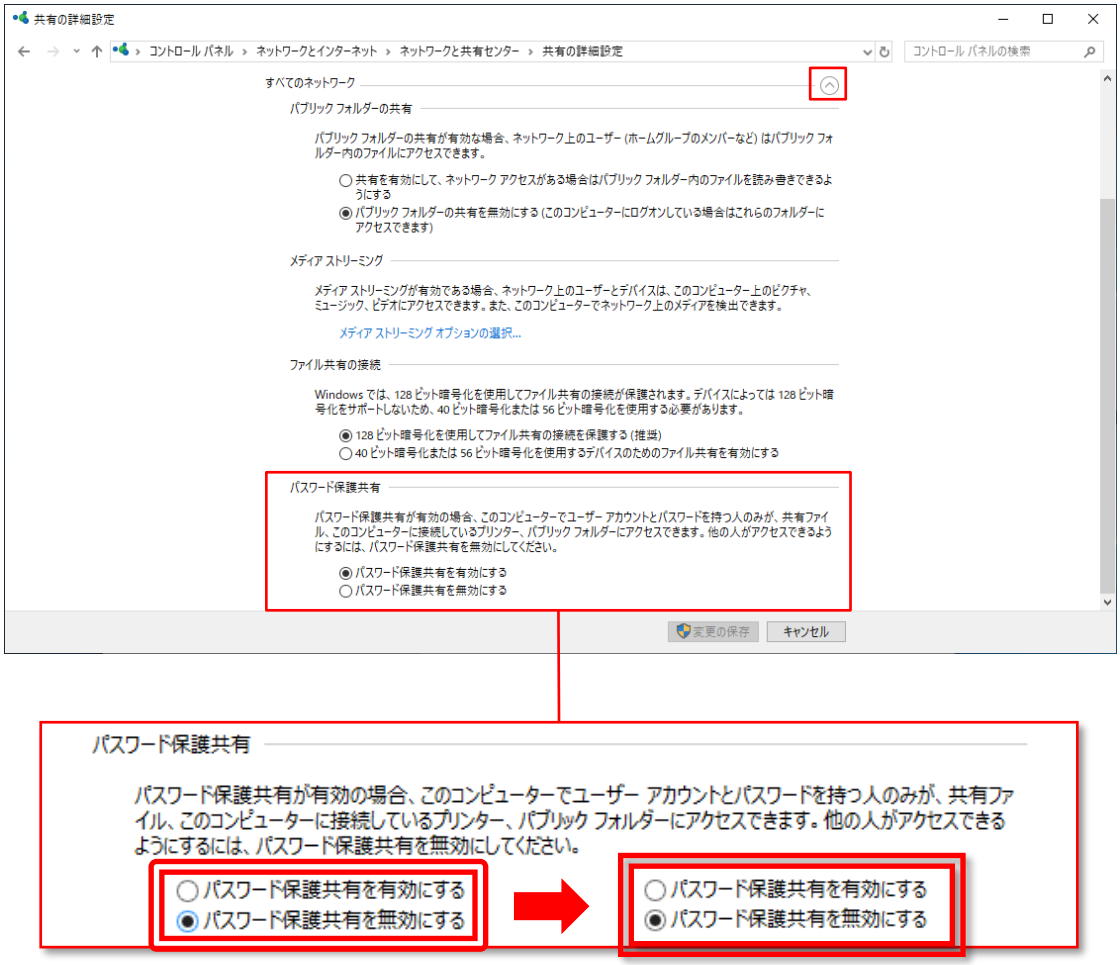
2. 「ネットワークとインターネット」を左クリックします。



3.　「共有オプション」を左クリックします。



4.　「すべてのネットワーク」項目を展開（ ∨ マークを左クリック）し、「パスワード保護共有」の設定を「有効」から「無効」に変更します。



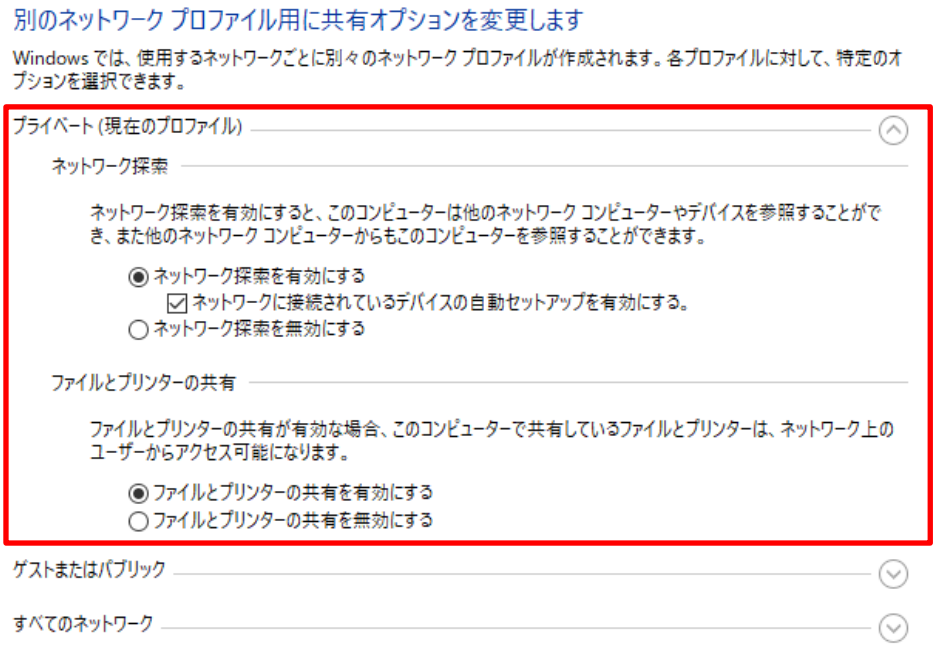
5. 設定変更後は、「変更の保存」ボタンを左クリックします。

ネットワーク探索やファイル共有が無効になっている場合

現在設定されているプロファイルの種類によっては、ネットワーク上のパソコンを参照できなかったり、共有ファイルへアクセスできなかったりする可能性があります。

下図の赤枠で示した部分は、前述した「パスワード保護共有」と同じ画面にあります。

- Windows 8.1…前述手順５の画面
- Windows 10…前述手順４の画面



- プライベート
  ご自宅または社内 LAN などの信頼できるネットワーク向けのプロファイル
- ゲストまたはパブリック
  公共のネットワーク（公衆 Wi-Fi スポットやホテルなどの LAN）向けのプロファイル

公共のネットワークでは不特定多数のデバイスがアクセスするため、他のデバイスからのアクセスを受け付けない設定にしておくことが望ましいです。

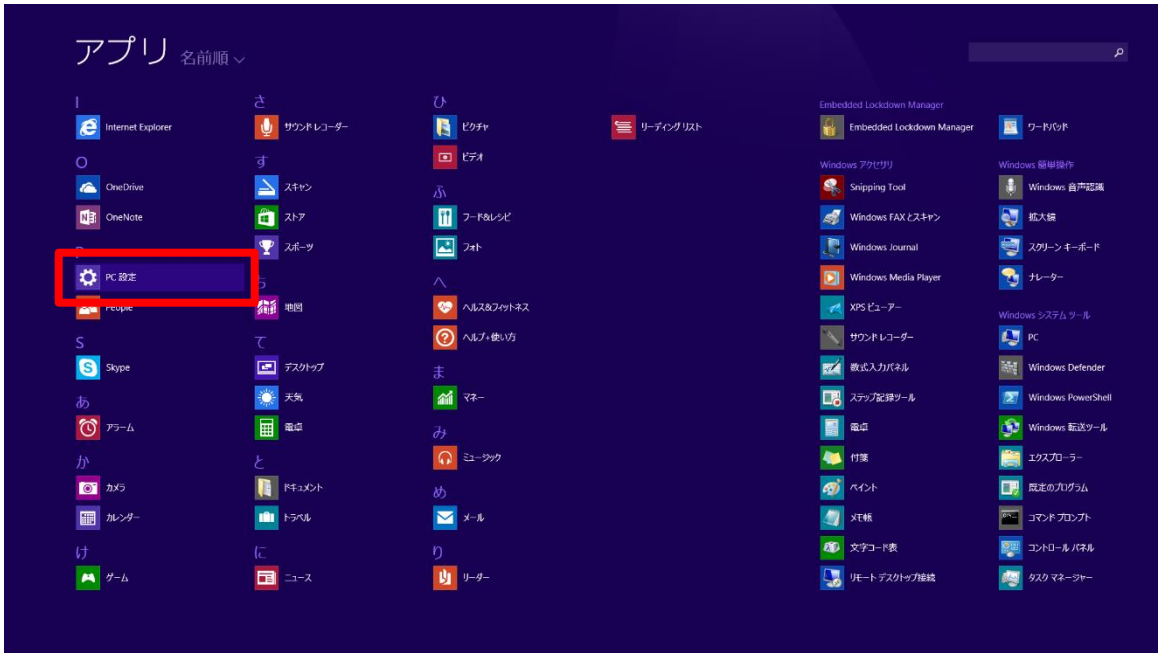
社内ネットワークに接続されているのにもかかわらず、接続中のネットワークが「パブリック」として認識されている場合、プロファイル設定の見直しが必要になるケースがあります。

信頼できるネットワークに接続していることが明らかであれば、ネットワークプロファイルは「プライベート」で運用されることをおすすめします。

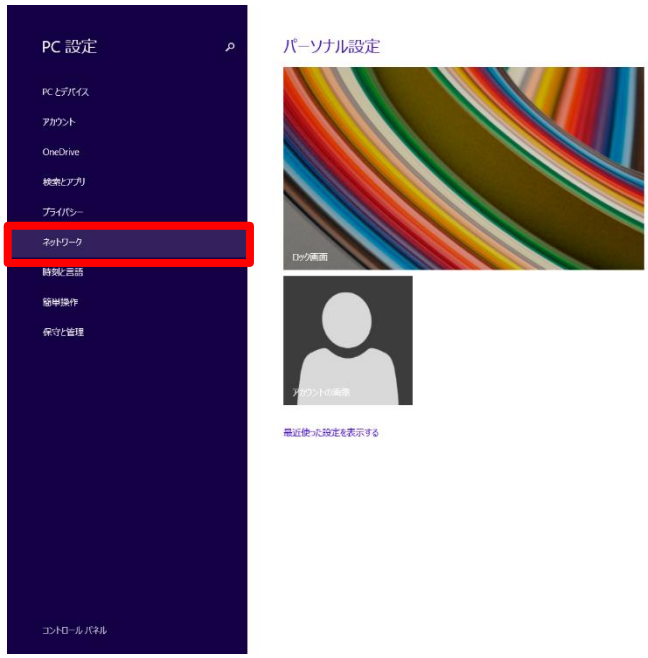
ネットワークプロファイルの切替方法

- **Windows 8.1 の場合**

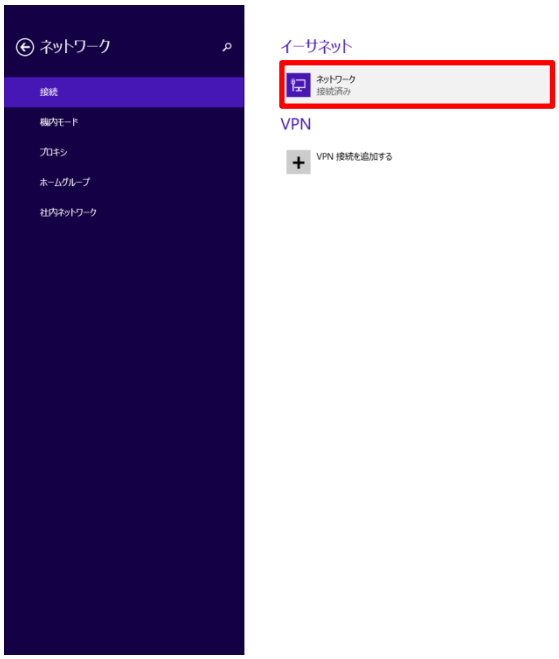
1. 「スタート」ボタンを左クリックし、下向き矢印ボタンを左クリックして表示されるアプリメニューから「PC 設定」を左クリックします。



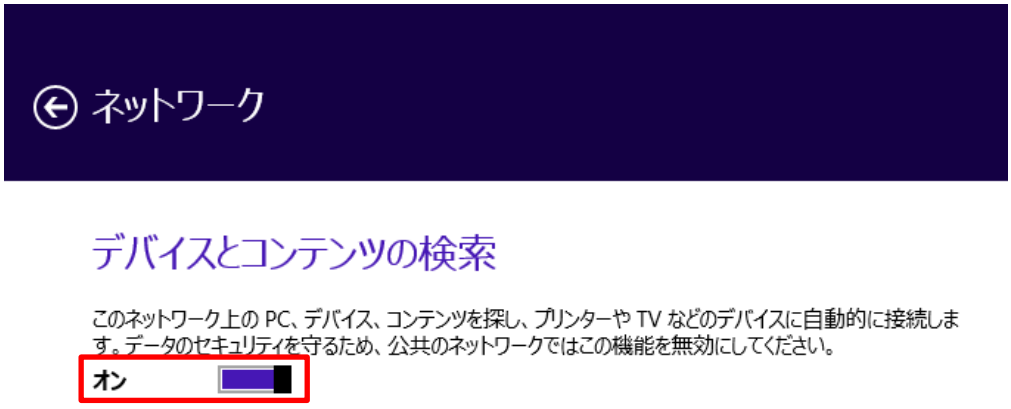
2. 「ネットワーク」を左クリックします。



3. 現在接続中のネットワークアダプタを左クリックします。

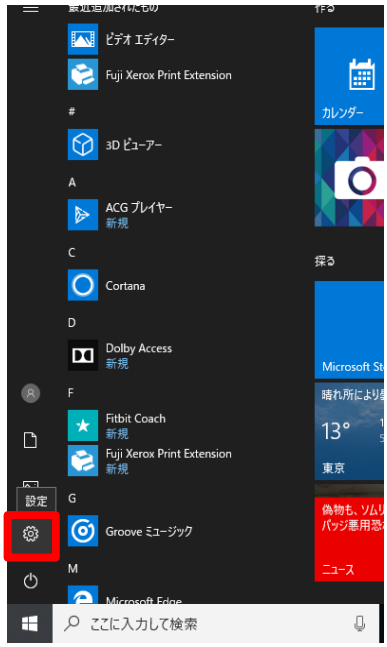


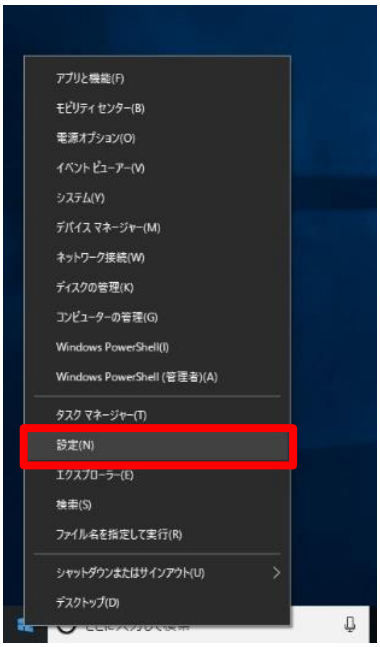
4. 「デバイスとコンテンツの検索」を「オン」にします。



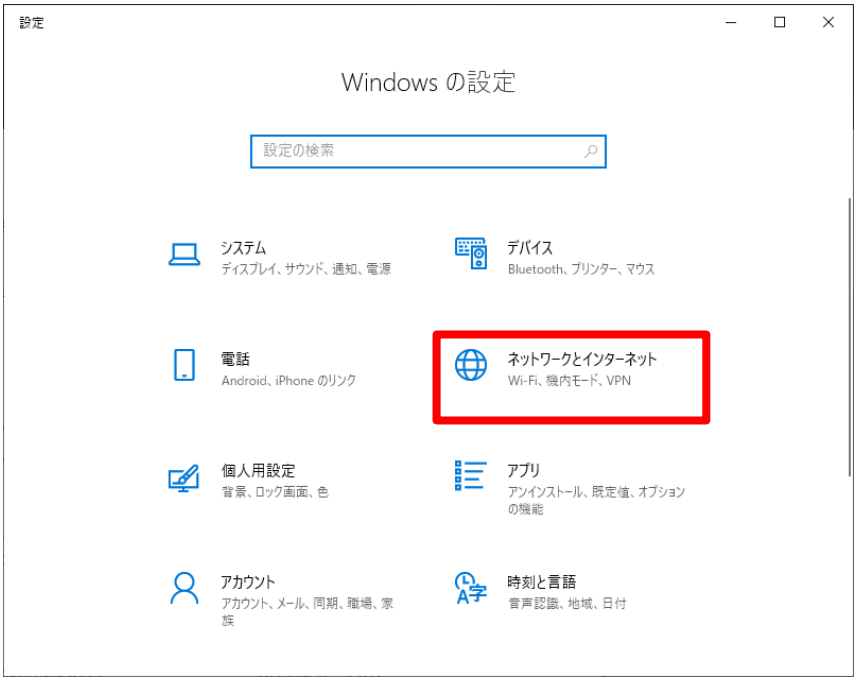
- **Windows 10 の場合**

1. 「スタート」ボタンを左クリック（または Win+X キーを押下）し、表示されるメニューから「設定」を左クリックします。

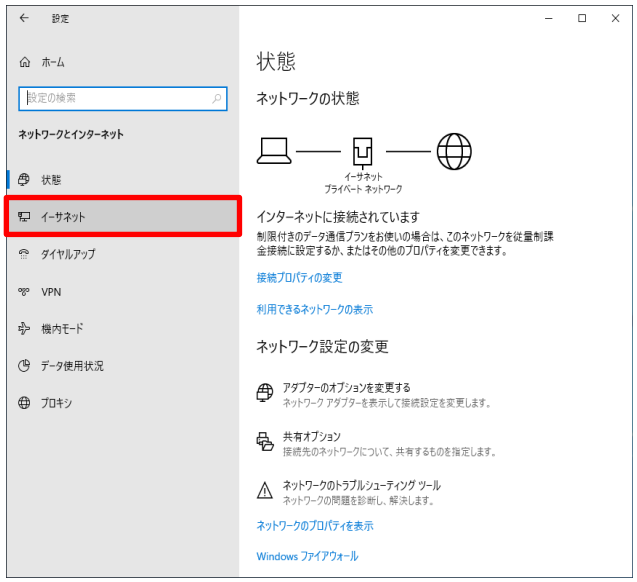




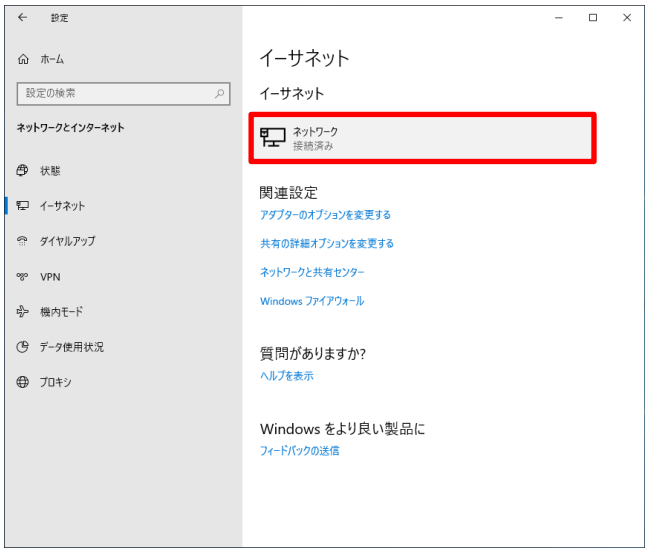
2. 「ネットワークとインターネット」を左クリックします。



3. 「イーサネット」を左クリックします。



4. 現在接続中のネットワークアダプタを左クリックします。



5. ネットワークプロファイルの「プライベート」にチェックを入れます。